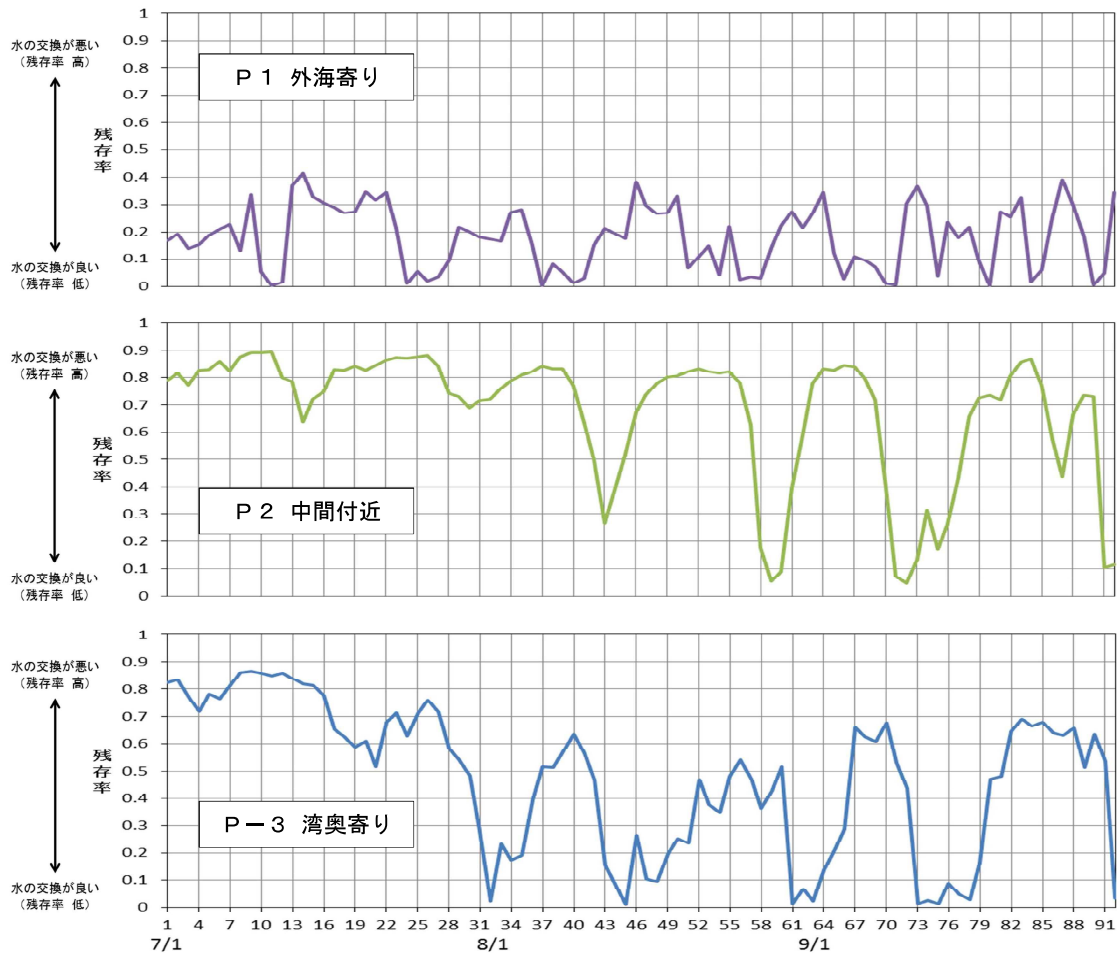


評価は、窪地内の水交換状況の指標とできる「残存率」で行った。

残存率：窪地内の水が 24 時間後に何割残っていたかとして定義。残存率が高ければ、水交換が無いことを意味する。残存率=0.5 であれば 24 時間後に窪地の半分の容量が交換されたことになる。

■残存率：2012年7月1日～9月30日までの3ヶ月間のシミュレーション結果

⇒ 各日の残存率の経日変化を折れ線グラフに図示



■ 窪地別の傾向分析

P 1 外海寄り	地理的に海水が進入しやすいことや開口面積が大きいことから、水の交換が起りやすいと考えられる。
P 2 中間付近	残存率が高めで推移しており、交換性はP-1に比べ明らかに低い。
P 3 湾奥寄り	残存率が高めで推移しており、交換性はP-1に比べ明らかに低い。

→ 湖底形状、位置などの要因により水交換の違いが生じていると推定できる。

3 まとめと今後の予定

(1) まとめ

手法	調査の内容	まとめ
A 底質分析	① 底質環境の経年変化	<ul style="list-style-type: none"> 各地点、概ね横ばいであるが、湖心及び米子湾の強熱減量は改善後、近年は横ばい。 リンは湖心でやや上昇のみ。
	② 底質環境の水域別特徴の把握 ☞ 米子湾、湖心、本庄水域などの水域別の特徴、対策に繋がる知見	<ul style="list-style-type: none"> リンは強熱減量、窒素に比べ地域差が少ない。 米子湾は湖心等の他のエリアに比べ、強熱減量、リンはやや低め。 窪地内は、他のエリアに比べて強熱減量、リンは高いが窒素は同程度。
B 水質シミュレーション	① 底質が湖沼水質に与える影響の程度の把握 ☞ 汚濁メカニズム解明に重要となる底質からの影響の程度 ☞ 窪地内の水質が、湖沼水質に与える影響の程度	<ul style="list-style-type: none"> 窪地内湖水の水交換については、窪地ごとに湖底形状、位置などの要因により水交換の違いが生じていると推定。

(2) 今後の予定

- ・長期的な底質環境の変化は、地点、分析項目により若干の増減があるものの、概ね横ばいであったが、今後も継続して監視して行く必要がある。
- ・底質の水域別特徴の知見を、今後の汚濁原因の究明や湖内対策の検討に役立てる。
- ・底質及び窪地からの影響の程度については、水質シミュレーションモデルの精度向上を図りつつ、引き続き検討する。
- ・また、得られた結果を踏まえ、水質浄化対策について検討する。

平成25年度中海流入河川一斉調査結果

1 当該調査の概要

- 調査目的：国・県・市が共同で、中海へ流入する河川の一斉水質調査を実施し、中海へ流入する汚濁負荷量を同時にできる限り多くの地点で把握して、水質変化等の要因分析や今後の施策検討のための基礎資料とする。
- 調査項目：水温、COD、全窒素、全りん、流量（流速×断面積）
- 調査時期：平成25年度：秋／計1回
平成26年度：春夏秋冬／計4回
- 調査地点：中海の水質に影響を及ぼすと考えられる公共用水域調査地点・流入河川等
平成25年度 中海内：21地点、河川：27地点
平成26年度 中海内：21地点、河川：34地点

2 調査結果（平成25年度秋調査のみ）

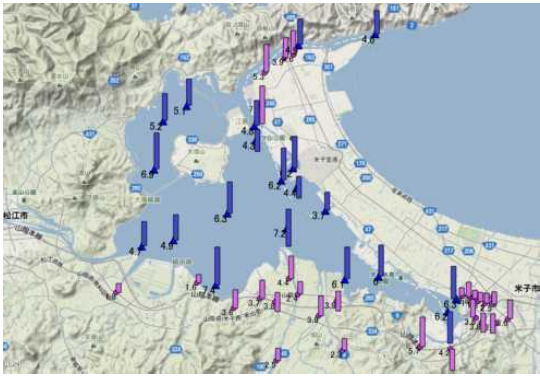
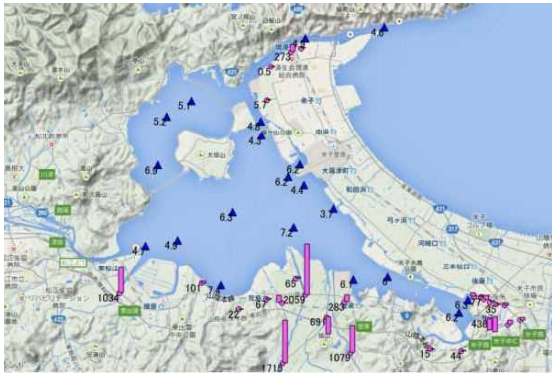
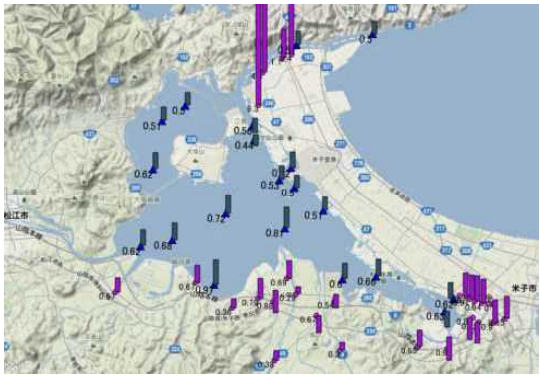
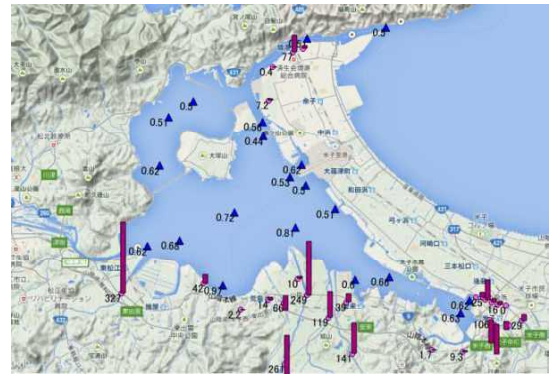


⇒ 調査位置・グラフなど：次ページ参照

- 水質は、下水道未整備地区や市街地流下の河川において全窒素、全りんが高値で確認される傾向。
- 流入負荷量は、流量の多い河川が必然的に高値となる。（流入負荷量）＝（水質濃度）×（流量）
- しかし前年1回のみの調査結果であるため、今年度も調査を実施し、知見を集積しているところ。
（濃度・負荷量いずれも季節変動等の変化が考えられ、現時点においての要因分析等は平成26年度調査後を予定）

3 今後の予定（平成26年度計画）

- 調査時期を四季（4回／年）として計画
6月上旬（かんがい期：田植の時期）、8月上旬（かんがい期：穂肥2回目の時期）
11月上旬（非かんがい期：稲刈り後）、2月上旬（非かんがい期）
⇒ 春夏秋冬の季節変化、水稻の水管理時期に合わせた形で調査時期を設定している。
- 調査結果を踏まえての水質浄化対策についても検討する。

■調査結果 平成25年度秋調査 (9月2日～12日調査より)

	水質測定値 (mg/L)	流入負荷量 (kg/day) ※湖内の数値は水質測定値 (mg/l)
COD		
全窒素		
全りん		

上図は、COD、全窒素、全りん別で位置・数値を棒グラフで図示したもの。

流入負荷量は、(水質測定値) × (流量) で与えられる。

右図：河川流量 (m³/秒) の図示 (棒グラフ)

